

# 令和8年度学校自己評価システムシート（県立岩槻商業高等学校）

目指す学校像	柔軟で創造的なビジネス人材を地域とともに育む学校
--------	--------------------------

重点目標	1 主体的、最適及び効率的、教科横断的な学びによる確かな知識・技能及び課題発見・解決能力を育成する。 2 自主性、自立・自律の醸成を図り、柔軟に対応できる心身ともに調和の取れた人材を育成する。 3 進路実現と社会貢献及び活躍の両立ができる一貫したキャリア教育を計画的・組織的に実現する。 4 発信力を重視し、保護者や地域と連携・協働し、地域に根ざした信頼される学校づくりをする。
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局（教職員）	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 （ 2 月 日 現 在 ）			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】ICT 機器、特にタブレット端末を活用した授業は定着している。資格取得においては、生徒たちに目的意識を持たせながら、効果的な支援を行っている。 【課題】生徒が主体的に学習を進められるよう、それぞれの生徒が自分にふさわしい学習方法を模索するような態度を育てることが課題である。生徒による主体的な学習（個別最適な学び）が実現できれば、効果が資格取得率・上位級合格者数に反映されると考える。	生徒の課題発見・解決能力育成を考慮した協調学習、ICT を活用した学習を計画的に実施しているか。「個別最適な学び」実現のための「個に応じた指導」を実践しているか。	①ICT を活用したわかる授業の実践 ②課題発見・解決型の学習指導の研究（研鑽）及び推進 ③主体的・対話的で深い学びを中心とした授業研究による指導力の向上	①②③ICT 活用頻度・方法 ②③学校生活アンケート			
		新しい検定試験の体系に対応した指導を適切に行い、目標とする資格取得率の水準に達することができたか。	①資格取得指導の実施 ②上位級合格者の表彰、検定バッチ（検定1級、1～3種目合格者）の表彰	①資格取得率（専門資格等取得表彰7割以上を目標） ②上位級合格者数			
2	【現状】暴力行為・いじめを許容しない、誰もが安心できる、安全な学校環境の整備に努めている。 【課題】具体的な人数は把握できていないが、生活に不安を抱える生徒が多数存在する。学校や家庭以外の居場所づくり等に取り組むとともに、生徒たちの主体的な活動機会の設定が課題である。	生徒の人間力（学力や社会貢献が可能となる人格形成）を高める指導が実施できたか。	①人間力を高める教科指導、生徒指導、進路指導の実践 ②部活動の取組、生徒の様々な活躍を奨励する指導の実施	①学校生活アンケート ②部活動実績や生徒の活躍状況			
		危機管理の観点から、生徒の自主性と創造性を育成する指導が実施できたか。	①交通安全巡回指導、いじめ防止の組織的指導の実施 ②危機管理マニュアル等に基づく安全対策指導の実施	①交通事故件数 ①いじめアンケート ②安全対策指導の実施状況			
3	【現状】系統的かつ段階的なキャリア教育により、生徒の進路実現は着実に成果を上げている。 【課題】生徒たちは商業に関する知識や技術を学んでいるが、実際にその力を発揮する機会の設定が不十分であることが課題である。	社会で即戦力となり、未来を切り拓く人材として求められる資質・能力を明確に示し、それらの定着を意図した指導は適切に実施できたか。	①中学校との接続を考慮したキャリア・パスポートの活用 ②「未来の職業人材育成事業」等による外部教育力活用 ③起業家（未来を切り拓く人材）等による外部教育力活用	①キャリア・パスポートを活用した指導（月1回以上を目標） ②③外部教育力の活用状況			
4	【現状】生徒募集人員減の影響もあり、学校の教育活動には縮小傾向が見られる。 【課題】学校の現状や取組を適切に周知するための情報発信力の向上が重要な課題である。また、学校運営協議会を通じて、保護者や地域住民等と学校・地域の課題を共有し、建設的な協議を進める。	情報発信力を向上させて、本校の教育活動を適切に周知できたか。	①積極的な情報発信 ②学校説明会等の工夫・改善 ③中高連携事業の実施	①SNS・HP へのアクセス数 ②参加者数、志願者数 ③中高連携事業実施回数			
		生徒が学校や地域の実情を理解し、地域等の課題や活動に主体的に関わろうとする態度を身に付けることができたか。	①地域貢献活動等の実施 ②地域連携・高大連携事業の実施 ③学校運営協議会による、教職員の業務量把握と健康確保のための措置の実施	①地域貢献活動等の実施回数、参加生徒数 ②地域連携・高大連携事業実施回数、参加生徒数 ③教職員の「時間外在校等時間」等の状況			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和9年2月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	